

# ミライのケンセツゲンバ

「現場体験ギフト」をあなたに

異業種のクリエーターに建設業の課題を抽出し、解決策を示していただく「ミライのケンセツゲンバ」。今回は体験型カタログギフト販売を行っているソウ・エクスペリエンスさんにお願いしました。

## I 体験型 カタログギフトとは?



そこで、建設現場の体験ギフトを考えてみようと、ある現場を訪れました。コンクリート練りや鉄筋の結束作業などの体験はギフトにできるのでは? 期待はふくらみます。



## II トロッコで 地下トンネルを探検

大師河原貯留管工事のケース

訪れたのは、下水道幹線工事。地下10数メートルまで下り、トロッコに乗ってのトンネル探検。先端部のシールドマシンを見て、最後に現場スタッフと同じ弁当(右)を味わってもらうなどのメニュー案で盛り上がります。



凍結工法を採用しているこの現場には、さらなる未知の世界が。雨水の浸入や地山の崩壊を防ぐために、マイナス30度で凍らせた壁の体験が可能でした。後に掘削する部分だけ完全に凍結しないよう温水管で温めるなど、新たな発見も。これは強力なメニュー!

ミライでは、「ケンセツゲンバ体験ギフト」があなたにも買えるかもしれません。乗馬やスパ、茶道などの体験ギフトを販売するソウ・エクスペリエンスの西村さんと堀さんに\*下水道工事の現場を見ていただき、その可能性を日建連メンバーと議論しました。

\*見てもらったのは、川崎市発注の「大師河原6号幹線その7工事」。地下深くに雨水を一時的に貯留する施設や排水のための下水道管を整備。立坑式の貯留施設と下水道トンネルを接続する際には、凍土壁を構築する特殊な工法が採用されている。施工は前田建設工業・岡村建興JV。

西村 今日の現場体験は楽しかったです。事前に説明があれば理解が深まり、体験の価値は10倍になります。

日建連 一般の方を定期的に受け入れるなら公共工事は難しいかもしれませんね。民間工事であれば、どんな体験ギフトが考えられますか。

西村 特定の日に、近いエリアで同時多発的に現場体験を行うのはどうですか。フリー パスを売り、その日はいつも自由に現場を体験できるのです。

日建連 11月18日の「土木の日」には、さまざまなイベントを行っていますね。

堀 各現場で工事の難所が異なるので、いろいろな体験ができます。

西村 今日の現場体験も有償化して売れますよ。

日建連 下水道トンネルを2キロ先まで歩いて、シールドマシン(掘削機)を見て帰ってくるのはどうですか?今しか見ることができません。

西村 トロッコに乗って行って、弁当を食べて帰ってくれば、なおよいですね。現場に特別な弁当は?

日建連 安くておいしい仕出し弁当があります。

西村 やり方はいろいろあるはずです。

日建連 ダム、トンネル、鉄道など、現場体験をパッケージにしてはどうですか?山奥のダム現場に行ったら、帰りに温泉で汗を流してもらえばいい。

西村 現地までの交通費を払ってでも行きたい人はいます。必要なのはきっかけです。

堀 体験ギフトを使って、そこにしかないものにたくさん触れてほしいですね。



## II 温泉付き 建設版 大人の社会科見学

複数現場と周辺観光地をパッケージ化した体験ギフトも。土木であればトンネル、鉄道、ダムの現場をセットに。現場の所長が施設の大切さや技術のポイントを説明。まさに「建設版大人の社会科見学」です。



ダムなどの山あいの現場では、帰りに温泉に寄って汗を流し、おいしいものを食べて、ゆっくりしてから帰ってもらいます。温泉付きなのでちょっと高価ですが、シニア層などには喜ばれそうです。

### 今回のクリエーター



代表取締役 西村琢磨氏

**Sow**  
*Experience*



取締役 堀太誌氏

